

筒井八幡神社 宮本通3丁目

- 「筒井町（つついちょう）・上筒井通（かみつついでおり）・宮本通（みやもとどおり）」の由来



祭神は応神天皇で、旧筒井村の氏神。この神社の創建については不明であるが、宝物の金幣に「明德元年（1390）」の文字があるので、創立はそれ以前と思われる。なお、春日野道の名の起りになった春日神社は春日野墓地近くにあったが、今はこの筒井八幡に合祀されている。さて、この辺りが開ける前は、田園の中に一つ際立つ森として、この神社は街道を往来する人々の目印になっ

た。その付近には清水が古くから湧いている井戸があり、井筒が設けられ、それが村の名になったといい、境内には「筒の井」という井戸が残っている。また、神社のある宮本通の町名は筒井八幡神社の本地であるところから名付けられた。

阪神・淡路大震災で倒壊した正面の大鳥居も2000(平成12)年10月に再建され、その脚部裏側に「復興阪神淡路大震災」の文字が刻まれている。



つつの井

場所：宮本通3丁目1-5

- 「大日通（だいにちどおり）」の由来
かつて、滝勝寺の末寺であった大日寺があり、廃寺となったあとも、地名として残った。